

♪ 調布市社協より平成 22 年度
事業計画が発表されました。
調布市の高次脳機能障害者とその
家族にとって、ビッグなニュース
があります。
重点項目 3 と 4 にご注目ください。

社協に、
3. 高次脳機能障害者とその家族の相談
窓口ができました。家族会、医療、
行政等、関係機関と連携しながら、
お一人おひとりの暮らしをサポート
します。お気軽にご相談ください。
4. 若年の当事者たちの余暇活動の場と
して「キラ星☆」を開設しています。
また、7月より新たに、就労に向け
た第一歩の場として「作業体験デイ
サービス」を開設します。

平成22年度 事業計画・予算が決定しました！

平成22年度は以下の基本方針のもと、1～6までの重点課題を中心に事業を進めてまいります。
詳しい内容については社協窓口で事業計画書・予算書をお渡ししますのでご利用ください。

重点項目

1 第4次調布市地域福祉 活動計画の推進

活動計画の推進委員会を設置して進捗状況を確認し、課題を検討します。

2 低所得者支援（生活福 祉資金の貸付）の拡充

国制度改正を受けて、増大する生活相談に対応する体制を整備し、他機関との連携をすすめます。

3 高次脳機能障害者支援 促進事業の開始

高次脳機能障害者の日常生活支援及び関係機関とのネットワークづくりをすすめます。

4 障がい者支援の充実

「調布市希望の家」は障害者自立支援法による事業所に移行します。「調布市こころの健康支援センター」は、精神障がい者の相談及び就労支援事業の充実をめざします。「障害者地域活動支援センタードルチェ」は、開設日を増やし、身体障がい者、高次脳機能障がい者の作業体験を試行します。

5 安全で効果的な法人 運営

第三者委員会や衛生委員会を活用しながら、幅広い視点で組織的な危機管理を拡充します。

6 調布市総合福祉セン ター事業の再編

調布市総合福祉センターで行う事業を再編し、国制度の適用や新たなニーズへの対応を検討し、高齢者サービスや障がい者サービスの提供と当事者が主体となる活動の統合的な充実を図ります。